

運用報告書(全体版)

第 24 期

(決算日：2019年6月4日)

SBIインド & ベトナム株ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBIインド&ベトナム株ファンド」は、2019年6月4日に第24期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00～17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信託期間とクローズド期間	原則として無期限(クローズド期間はありません)	
運 用 方 針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド(ベビーフアンド)	「LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ステイト・バンク・オブ・インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」受益証券(以下「マザーファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
	L G M インド株・マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。
	ステイト・バンク・オブ・インド株・マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。
	S B I A M インド株・マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。
	S B I A M ベトナム株・マザーファンド	ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みます。)ならびに当該株式の値動きに連動する債券、新株引受権証券等を主要投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド(ベビーフアンド)	マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	L G M インド株・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資には制限を設けません。
	ステイト・バンク・オブ・インド株・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資には制限を設けません。
	S B I A M インド株・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資には制限を設けません。
	S B I A M ベトナム株・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、基準価額水準及び市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、委託会社の判断により収益分配を行わないこともあります。	

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
20期(2017年6月5日)	9,887	0	18.6	94.6	—	9,799
21期(2017年12月4日)	11,182	0	13.1	95.6	—	10,372
22期(2018年6月4日)	10,963	0	△ 2.0	92.3	—	10,233
23期(2018年12月4日)	10,592	0	△ 3.4	96.0	—	9,641
24期(2019年6月4日)	10,617	0	0.2	93.5	—	9,332

(注1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用していません。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 基準価額の騰落率は分配金込み。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2018年12月4日	10,592	—	96.0
12月末	10,259	△ 3.1	93.8
2019年1月末	9,873	△ 6.8	94.6
2月末	10,167	△ 4.0	94.4
3月末	10,882	2.7	95.5
4月末	10,884	2.8	96.4
5月末	10,641	0.5	93.3
(期 末)			
2019年6月4日	10,617	0.2	93.5

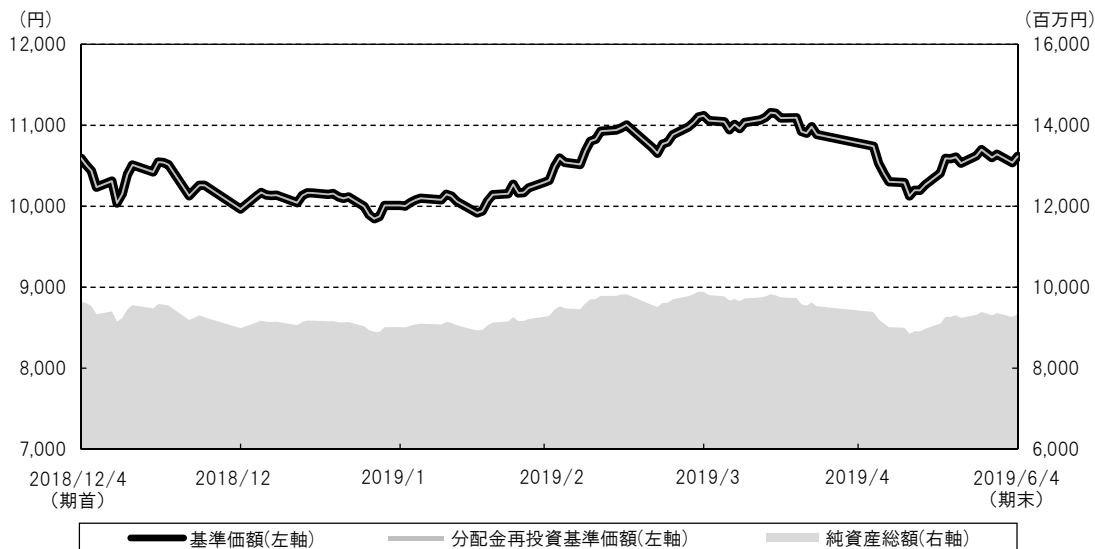
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用していません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2018年12月5日から2019年6月4日まで）

○基準価額等の推移



期 首：10,592円

期 末：10,617円（既払分配金(税込み):0円）

騰 落 率： 0.2%（分配金再投資ベース）

- (注1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年12月4日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、外国為替市場で円高が進行し、ベトナム株式市場は下落したものの、インド株式市場が堅調に推移したことにより、上昇しました。2018年12月から2019年1月末にかけては、ベトナム株式市場が比較的堅調に推移した一方、世界的な株安基調や、インド・パキスタン間の地政学リスクの高まりに伴う投資家心理の悪化によりインド株式市場が下落したため軟調に推移し、基準価額は当期最安値の9,846円となりました。通貨インド・ルピーやベトナム・ドンには円高基調の推移となりました。しかし、3月以降はインド準備銀行の追加利下げや、インド下院総選挙でのモディ政権の続投期待、良好な中国の経済指標を背景とした世界景気の減速懸念の緩和などにより堅調に推移したことに加えて、通貨インド・ルピーやベトナム・ドンが安定して推移し、1月下旬から10%近い上昇となりました。4月末から5月上旬にかけては、株式市場は比較的安定していたものの、為替が大きく円高に振れたため、軟調に推移しました。その後は、インドの下院総選挙でモディ首相率いるインド人民党が単独過半数の議席を獲得したことにより大きく反発したことがプラスに寄与し、当ファンドの基準価額は反発基調となり、決算日である6月4日の基準価額は10,617円と、期を通じて+0.2%の上昇となりました。

○投資環境

○インド株式市場

(2018年12月)

- ・月内はボラティリティが高く、前半は州議会選挙の政権与党の苦戦や、インド中央銀行総裁の突然の辞任により下落しました。中旬に次期中央銀行総裁が任命されたことで上昇したものの、下旬は米国株の大幅下落の影響を受けました。

(2019年1月)

- ・米連邦公開市場委員会(FOMC)において利上げの一時停止が示唆されたことや、インドの国内消費の活性化に向けた予算案の発表期待から、大型株を中心に上昇しました。

(2月)

- ・インド準備銀行による緩和的政策期待から、株式市場は上昇しました。しかし、中旬に発生したカシミール地方でのテロ事件により、インド・パキスタン両国間における緊張が高まったため、投資家心理が悪化し、株価は反落しました。

(3月)

- ・5月に予定されているインド下院総選挙でモディ政権が続投するとの期待が高まったことや、インド準備銀行による追加利下げへの期待により、株式市場は堅調に推移しました。

(4月)

- ・方向感はなかったものの、上昇して月末を迎えました。原油価格の上昇やモンスーンの降雨量が例年を下回るとの予測からインフレ懸念が強まり、株式市場の重しとなりました。

(5月)

- ・月初は米中貿易摩擦の激化懸念により下落しましたが、その後はインドの下院総選挙でモディ首相率いるインド人民党が単独過半数の議席を獲得したことにより、大きく反発しました。

○ベトナム株式市場

(2018年12月)

- ・月初は米中貿易摩擦への懸念が緩和され、株式市場は上昇したものの、中国の経済指標の軟調を契機とした世界経済の成長減速懸念から、下落して月末を迎えました。

(2019年1月)

- ・主だった材料はなかったものの、外国人投資家動向が月初から4週連続の買い越しとなり、株式市場は上昇して終わりました。

(2月)

- ・旧正月(テト)明けから買いが続き、米中貿易摩擦に関して対話が進むという期待感から大型株を中心に資金が流入し、上昇して月末を迎えました。

(3月)

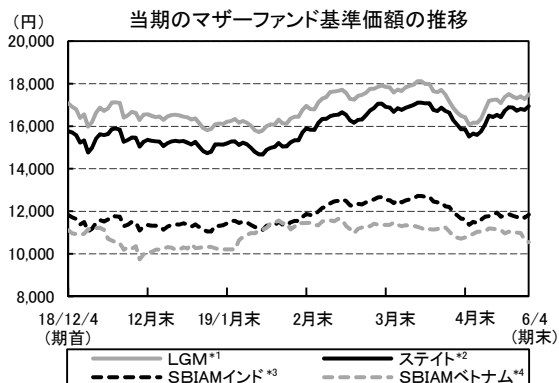
- ・良好な経済指標と企業業績への期待を背景に上昇しました。

(4月)

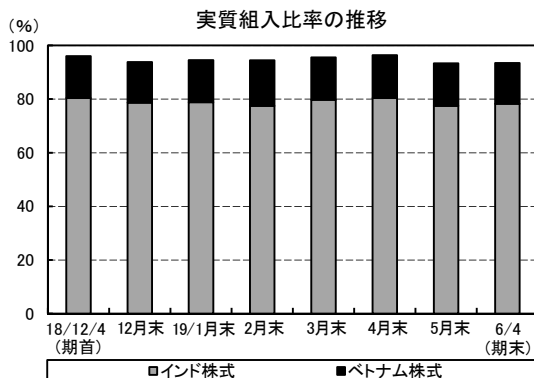
- ・消費者物価指数や鉱工業生産指数、小売売上高は好調だったものの、緩やかな下落となりました。

(5月)

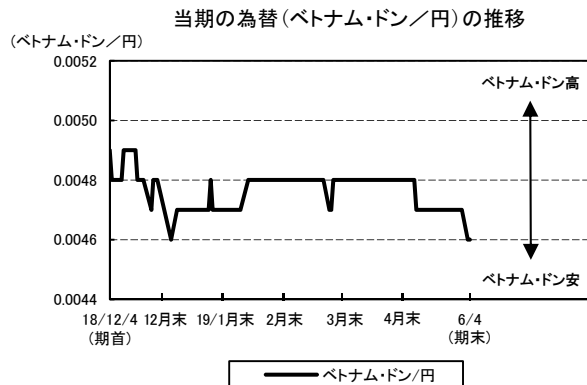
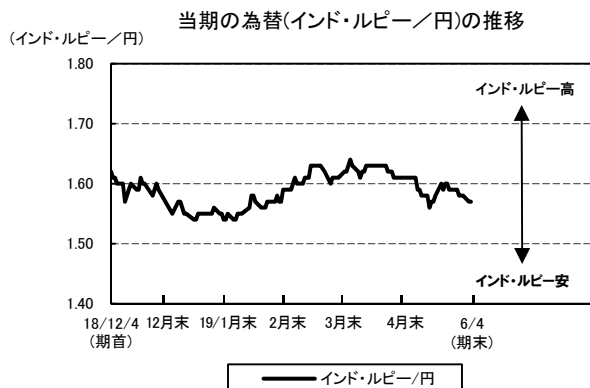
- ・経済指標は良好だったものの、軟調なグローバル株式市場の影響を受けて、売り優勢の展開となりました。



- *1 ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)
 *2 LGM インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)
 *3 SBIAM インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)
 *4 SBIAM ベトナム株・マザーファンド (適格機関投資家専用)



※当ファンドの純資産総額に対する比率です。

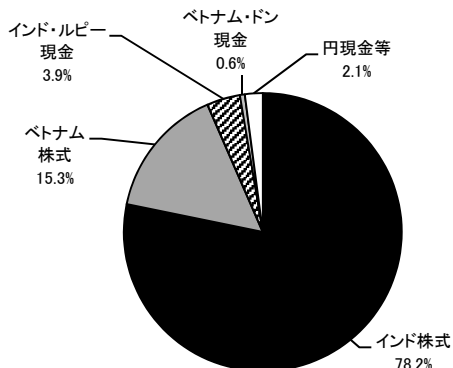


当期末の為替

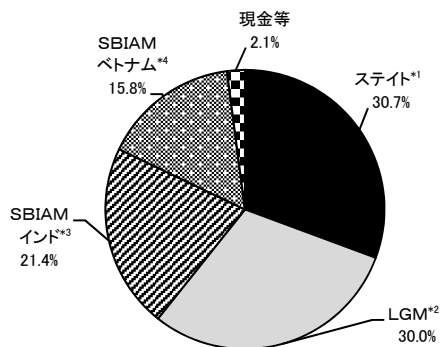
	レート(円)	前期比(%)
インド・ルピー/円	1.57	△3.09
ベトナム・ドン/円	0.0046	△6.12

※為替レートは、わが国の対顧客電信売買相場仲値を採用しています。
 ※為替レートの前期比は、プラスはそれぞれインド・ルピー高/ベトナム・ドン高、マイナスはそれぞれインド・ルピー安/ベトナム・ドン安です。

実質組入の状況 (2019年6月4日現在)



組入資産の状況 (2019年6月4日現在)



※実質組入は、各運用部分（ステイト^{*1}、LGM^{*2}、SBIAMインド^{*3}及びSBIAMベトナム^{*4}）を通じて投資している資産を合計したものです。
 ※上記はいずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。

- *1 ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）
- *2 LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）
- *3 SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）
- *4 SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」、「SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」といった各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、おおむね95%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は99.3%となっております。

<LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、おおむね 95%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は 96.7%となっております。

<SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

インドの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、おおむね 70%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は 87.5%となっております。

<SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性及び流動性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

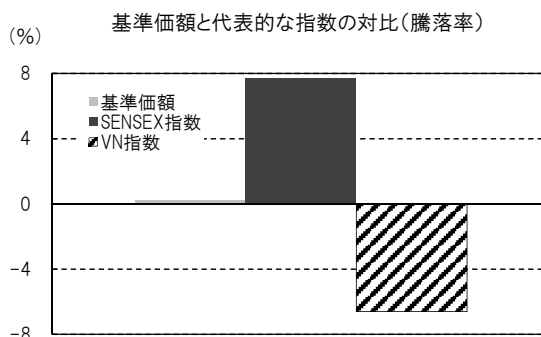
株式等の組入比率に関しては、おおむね 95%以上の組入比率を維持しました。期末の株式等の組入比率は 96.4%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの 2 カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用しておりません。

また、適当な参考指数もないことから当ファンドの基準価額と、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数としてインドでは SENSEX 指数*、ベトナムでは VN 指数*を記載しております。

※各指数は円建て



第 24 期
(2019年6月4日)

○分配金

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 24 期
	2018年12月5日～ 2019年6月4日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,285

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」の各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ってまいります。

<ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドは以下のようにコメントしています。

インドの下院総選挙でモディ首相率いるインド人民党が単独過半数を獲得し、政権が継続することは、企業の景況感や金融市場に対する投資家心理を下支えする可能性があります。我々は、法人向け貸出に対する不良債権の引当金減少や、企業の設備投資サイクルが潜在的に転換点を迎えていることなどから、2020年度にはインド企業の利益が成長すると予想しています。過去数年間にわたって、インドの株式市場は成長に恵まれ、一部の株式は成長の予測可能性と一貫性を背景に高く評価されていました。すべての銘柄が利益成長することは難しいものの、“質の高いグロース銘柄”の選択は長期間にわたって機能しています。また、利益率や利益成長の好転が他の銘柄にも広がり、トレンドの変化が進行しています。

MSCI インド指数のバリュエーションは平均を上回っており、MSCI インド指数は来期予想利益の18.5倍程度で取引されています(10年間の平均に対して最大19%のプレミアム)。過去18カ月間の中小型株の大幅な低迷は、優良な株を魅力的なバリュエーションで購入できる良い機会を我々に与えています。ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を続けることが収益機会を得る最良の方法だと我々は考えています。

<LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドは以下のようにコメントしています。

世界第7位の経済規模を持つインドは、「真の」新興国市場です。1人当たり国内総生産（GDP）は2,000ドルを下回っているものの、経済の急成長は続いています。健全な民主主義や効果的な政策決定に加えて、好ましい人口動態やマクロ経済の改善は、インド経済や株式市場の見通しを長期的に下支えしています。我々は、引き続きインドには長期的な投資機会があり、質の高いインド企業は魅力的な投資先と考えています。

我々の短期的な投資戦略は、インドの長期的な成長見通しを捉えるものになっています。引き続きボトムアップ・アプローチにより質の高いインド企業への長期投資に注力する方針です。我々は、投資先企業の質を重視する投資哲学やボトムアップ・アプローチを採用し、国内重視のインド企業を愛好していることから、生活必需品、一般消費財関連、金融の組入比率を高め、エネルギー、公益事業、ヘルスケア、IT、通信の組入比率を低下させています。

<SBIAM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

インド下院総選挙の与党勝利やインド準備銀行による利下げが好感されたものの、材料出尽くしによる利益確定売りもあり、直近は一進一退の展開となっています。今後の見通しとしては、一人当たりGDPの増加による消費拡大、金融セクターの成長、政府によるインフラ投資の拡大、繊維や特殊化学製品の輸出の拡大により、引き続き高水準の経済成長率が続くと思込まれます。また、インド国内の投資家によるインド株の買い越し基調が継続していることに加えて、海外機関投資家の資本が流入に転じていることから、中長期的には緩やかに上昇していく展開が想定されます。

以上の見通しにより、インド株を主要投資対象とする上記の各受益証券については、対純資産比率で80%前後の組入比率を目標として運用する方針です。

<SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）>

ベトナム経済は引き続き好調を維持しており、2018年のGDP成長率は前年比+6.6%、2019年は同+6.6%の高成長が続く見込みです。ベトナムは中国が最大の輸出先ですが、米中貿易摩擦での関税を回避するために、生産拠点を中国から他国に移設する恩恵を受ける有力候補と考えられています。外国からベトナムへの直接投資の加速を通じて、中長期的には上昇基調が継続すると予想されます。

以上の見通しにより、当面は対純資産比率で10-15%前後の組入比率で運用を行います。必要に応じて、銘柄入れ替えを行いながら運用する方針です。

※上記見通しと運用方針のうち、「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」及び「LGM インド株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」については、それぞれ運用の再委託会社であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッド、LGM・インベストメンツ・リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳したものを記載しております。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018 年 12 月 5 日～2019 年 6 月 4 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	113 (69) (39) (5)	1.077 (0.657) (0.377) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	10 (10)	0.093 (0.093)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有価証券取引税 (株 式)	7 (7)	0.068 (0.068)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	15 (7) (1) (7)	0.143 (0.068) (0.012) (0.063)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等、信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	145	1.381	
期中の平均基準価額は10,451円です。			

(注 1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注 4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注 5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

○売買及び取引の状況

(2018年12月5日～2019年6月4日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

項 目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
LGM インド株・マザーファンド	1,011	1,730	597,976	966,210
ステイト・バンク・オブ・インディアインド株・マザーファンド	1,274	2,048	813,880	1,266,210
SBIAM インド株・マザーファンド	1,608,724	1,902,010	131,488	164,570
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	712	780	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期			
	LGM インド株・マザーファンド	ステイト・バンク・オブ・インディアインド株・マザーファンド	SBIAM インド株・マザーファンド	SBIAM ベトナム株・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,118,276千円	2,433,210千円	1,839,992千円	—千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,420,803千円	3,828,476千円	451,318千円	1,482,985千円
(c) 売買高比率(a) / (b)	0.32	0.63	4.07	—

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月5日～2019年6月4日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月4日現在)

親投資信託残高

項 目	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
LGM インド株・マザーファンド	2,199,980	1,603,015	2,803,994
ステイト・バンク・オブ・インディアインド株・マザーファンド	2,501,897	1,689,291	2,860,984
SBIAM インド株・マザーファンド	209,216	1,686,452	1,997,434
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	1,399,587	1,400,299	1,476,616

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
LGM インド株・マザーファンド	2,803,994	29.7
ステイト・バンク・オブ・インド株・マザーファンド	2,860,984	30.3
SBIAM インド株・マザーファンド	1,997,434	21.1
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	1,476,616	15.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	311,223	3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	9,450,251	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LGM インド株・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(2,804,062千円)の投資信託財産総額(2,804,071千円)に対する比率は100.0%です。

(注3) ステイト・バンク・オブ・インド株・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(3,237,444千円)の投資信託財産総額(3,253,105千円)に対する比率は99.5%です。

(注4) SBIAM インド株・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(1,997,374千円)の投資信託財産総額(2,011,353千円)に対する比率は99.3%です。

(注5) SBIAM ベトナム株・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(1,476,643千円)の投資信託財産総額(1,476,643千円)に対する比率は100.0%です。

(注6) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、100ベトナム・ドン=0.46円、1インド・ルピー=1.57円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,450,251,063
コール・ローン等	311,221,830
LGM インド株・マザーファンド(評価額)	2,803,994,668
ステイ・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(評価額)	2,860,984,025
SBIAM インド株・マザーファンド(評価額)	1,997,434,420
SBIAM ベトナム株・マザーファンド(評価額)	1,476,616,120
(B) 負債	117,592,374
未払解約金	15,756,973
未払信託報酬	100,754,551
未払利息	850
その他未払費用	1,080,000
(C) 純資産総額(A - B)	9,332,658,689
元本	8,790,183,749
次期繰越損益金	542,474,940
(D) 受益権総口数	8,790,183,749口
1万口当たり基準価額(C / D)	10.617円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	9,102,260,044 円
期中追加設定元本額	571,988,947 円
期中一部解約元本額	884,065,242 円

○損益の状況 (2018年12月5日～2019年6月4日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 179,958
受取利息	29
支払利息	△ 179,987
(B) 有価証券売買損益	126,427,898
売買益	290,991,589
売買損	△ 164,563,691
(C) 信託報酬等	△ 101,846,426
(D) 当期損益金(A + B + C)	24,401,514
(E) 前期繰越損益金	855,555,364
(F) 追加信託差損益金	△ 337,481,938
(配当等相当額)	(679,429,098)
(売買損益相当額)	(△ 1,016,911,036)
(G) 計(D + E + F)	542,474,940
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	542,474,940
追加信託差損益金	△ 337,481,938
(配当等相当額)	(679,726,185)
(売買損益相当額)	(△ 1,017,208,123)
分配準備積立金	1,329,557,586
繰越損益金	△ 449,600,708

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,174,354円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(679,726,185円)および分配準備積立金(1,324,383,232円)より分配対象収益は2,009,283,771円(10,000口当たり2,285円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- (注5) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額23,383,162円。

第 12 期 運用報告書

(決算日 2019 年 6 月 4 日)

LGM インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)

受益者のみなさまへ

「SBIインド&ベトナム株ファンド」が投資対象とするマザーファンド「LGM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」の第 12 期(2018 年 6 月 5 日から 2019 年 6 月 4 日まで)の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行います。 株式投資に際しては、投資対象に掲げる株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 LGM・インベストメンツ・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
8期(2015年6月4日)	12,964	39.2	93.1	—	3,653
9期(2016年6月6日)	11,109	△ 14.3	96.0	—	2,547
10期(2017年6月5日)	15,225	37.1	96.5	—	3,959
11期(2018年6月4日)	18,016	18.3	96.4	—	3,961
12期(2019年6月4日)	17,492	△ 2.9	96.7	—	2,804

(注1) 「株式組入比率」「投資信託証券組入比率」は純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) —印は組入れなし。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首) 2018年6月4日	円 18,016	% —	% 96.4
6月末	17,218	△ 4.4	96.2
7月末	18,217	1.1	96.2
8月末	18,074	0.3	96.0
9月末	16,030	△ 11.0	95.5
10月末	15,141	△ 16.0	98.4
11月末	17,179	△ 4.6	95.8
12月末	16,618	△ 7.8	95.7
2019年1月末	15,868	△ 11.9	96.8
2月末	16,120	△ 10.5	97.2
3月末	17,573	△ 2.5	97.2
4月末	17,498	△ 2.9	97.2
5月末	17,407	△ 3.4	96.7
(期末) 2019年6月4日	17,492	△ 2.9	96.7

(注1) 騰落率は期首比。

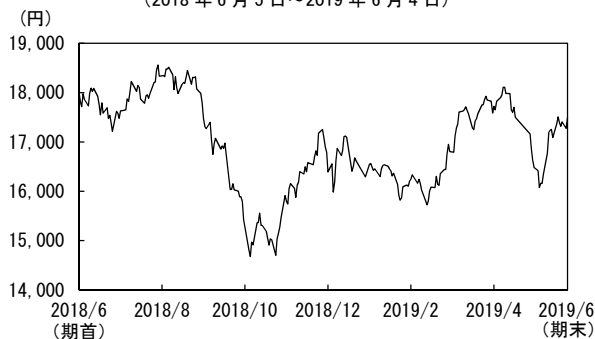
(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2018年6月5日から2019年6月4日まで）

○運用経過

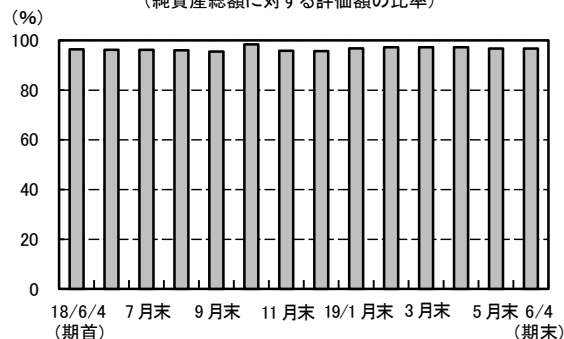
【基準価額の推移】

(2018年6月5日～2019年6月4日)



【株式組入比率の推移】

(純資産総額に対する評価額の比率)



【組入上位 10 銘柄】

(2019年6月4日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1 HDFC銀行	銀行	インド・ルピー	インド	7.3
2 コタック・マヒンドラ銀行	銀行	インド・ルピー	インド	5.4
3 ICICI銀行	銀行	インド・ルピー	インド	5.3
4 HDFC	銀行	インド・ルピー	インド	5.1
5 バジヤジ・ファイナンス	各種金融	インド・ルピー	インド	4.6
6 ITC	食品・飲料・タバコ	インド・ルピー	インド	4.4
7 チタン	耐久消費財・アパレル	インド・ルピー	インド	4.3
8 バジヤジ・オート	自動車・自動車部品	インド・ルピー	インド	4.0
9 ビディライト・インダストリーズ	素材	インド・ルピー	インド	3.9
10 シュリラム・シティ・ユニオン・ファイナンス	各種金融	インド・ルピー	インド	3.9
組入銘柄数	27 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

【当期末の為替】

	レート(円)	前期比(%)
米ドル/円	107.92	△5.01
インド・ルピー/円	1.57	△3.09

※為替レートは、わが国の対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

※為替レートの前期比は、プラスはそれぞれ米ドル高/インド・ルピー高、マイナスはそれぞれ米ドル安/インド・ルピー安です。

○基準価額の変動要因

当期の基準価額は、外国為替市場で円高が進行しましたが、株式市場が堅調に推移したことにより上昇しました。期初は米連邦準備制度理事会(FRB)のタカ派姿勢、米中間の貿易摩擦をめぐる懸念、世界的な原油価格の上昇、インド準備銀行による0.25%の利上げにもかかわらず株価は大幅上昇しました。しかし、2018年9月から10月にかけては原油価格の上昇懸念、インド・ルピー安、そしてノンバンクによる市場での資金調達をめぐる懸念により大きく下落しました。11月は反発したものの、12月から2019年1月末にかけては、世界的株安に始まり、インド・パキスタン間の地政学リスクの高まりによる投資家心理の悪化によりインド株式市場が下落したため、軟調に推移しました。3月以降はインド準備銀行の追加利下げ、インド下院総選挙でのモディ政権の続投期待や、良好な中国経済指標を背景とした世界景気減速懸念の緩和などにより堅調に推移したことに加えて、為替も安定して推移し、1月下旬から10%近い上昇となりました。4月末から5月上旬にかけては、株価市場は比較的安定していたものの、為替が大きく円高に振れたため、軟調に推移しました。その後はインドの下院総選挙でモディ首相率いるインド人民党が単独で過半数の議席を獲得したことにより大きく反発したことがプラスに寄与し、当ファンドの基準価額は反発基調となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

【組入上位5銘柄】

期首(2018年6月4日)

銘柄名	業種	組入比率
HDFC銀行	銀行	6.2%
ITC	食品・飲料・タバコ	5.7%
ICICI銀行	銀行	5.6%
コタック・マヒンドラ銀行	銀行	5.6%
イエス銀行	銀行	5.1%

期末(2019年6月4日)

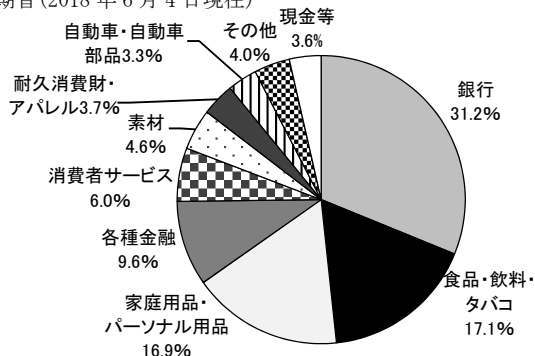
銘柄名	業種	組入比率
HDFC銀行	銀行	7.3%
コタック・マヒンドラ銀行	銀行	5.4%
ICICI銀行	銀行	5.3%
HDFC	銀行	5.1%
バジャジ・ファイナンス	各種金融	4.6%

※当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

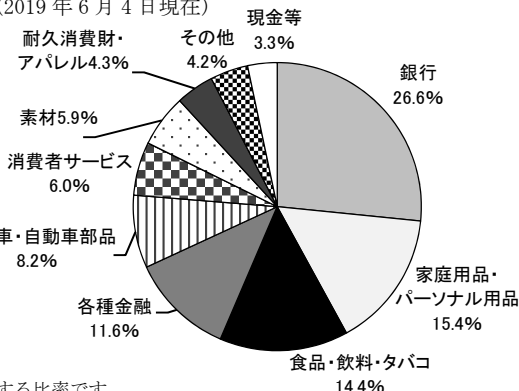
※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

【業種別組入比率】

期首(2018年6月4日現在)



期末(2019年6月4日現在)



※当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
 ※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドは以下のようにコメントしています。

世界第7位の経済規模を持つインドは、「真の」新興国市場です。1人当たり国内総生産（GDP）は2,000ドルを下回っているものの、経済の急成長は続いています。健全な民主主義や効果的な政策決定に加えて、好ましい人口動態やマクロ経済の改善は、インド経済や株式市場の見通しを長期的に下支えしています。我々は、引き続きインドには長期的な投資機会があり、質の高いインド企業は魅力的な投資先と考えています。

我々の短期的な投資戦略は、インドの長期的な成長見通しを捉えるものになっています。引き続きボトムアップ・アプローチにより質の高いインド企業への長期投資に注力する方針です。我々は、投資先企業の質を重視する投資哲学やボトムアップ・アプローチを採用し、国内重視のインド企業を嗜好していることから、生活必需品、一般消費財関連、金融の組入比率を高め、エネルギー、公益事業、ヘルスケア、IT、通信の組入比率を低下させています。

※上記見通しと運用方針は、当マザーファンドの再委託会社であるLGM・インベストメンツ・リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳したものを記載しております。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018 年 6 月 5 日～2019 年 6 月 4 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 5 (5)	% 0.029 (0.029)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(b) 有価証券取引税 (株 式)	10 (10)	0.060 (0.060)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	15 (15)	0.091 (0.091)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	30	0.180	
期中の平均基準価額は16,911円です。			

- (注 1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注 3) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。
(注 4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年6月5日～2019年6月4日)

株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
イ ン ド	百株 4,736 (4,576)	千インド・ルピー 335,052 (140,440)	百株 16,480 (583)	千インド・ルピー 908,259 (140,440)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,977,906 千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	3,508,790 千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.56

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月5日～2019年6月4日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月4日現在)

外国株式

銘 柄	期 首 (前期末)	当 期 末			業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額	
(インド…ムンバイ市場)	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
ESCORTS LTD	392	278	16,889	26,516	資本財
SHREE CEMENT LIMITED	15	16	35,062	55,047	素材
INDUSIND BANK LTD	533	378	62,929	98,799	銀行
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	444	—	—	—	運輸
BRITANNIA INDUSTRIES	159	—	—	—	食品・飲料・タバコ

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(インド…ムンバイ市場)	百株	百株	千インド・ルーピー	千円		
NESTLE INDIA LIMITED	115	54	63,414	99,561	食品・飲料・タバコ	
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	1,013	629	96,453	151,431	銀行	
TITAN CO LTD	985	603	76,449	120,026	耐久消費財・アパレル	
COLGATE-PALMOLIVE (INDIA)	835	538	62,995	98,903	家庭用品・パーソナル用品	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	570	405	90,404	141,935	銀行	
HINDUSTAN UNILEVER LIMITED	598	309	56,927	89,376	家庭用品・パーソナル用品	
MAHARASHTRA SCOOTERS LTD	—	46	20,133	31,610	自動車・自動車部品	
UNITED SPIRITS LIMITED	208	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	—	78	54,875	86,154	自動車・自動車部品	
SHRIRAM CITY UNION FINANCE LTD	392	450	69,799	109,585	各種金融	
EMAMI LTD	499	1,601	55,953	87,846	家庭用品・パーソナル用品	
DELTA CORP LTD	2,666	2,676	55,569	87,243	消費者サービス	
ITC LTD	5,051	2,790	77,732	122,040	食品・飲料・タバコ	
PIDILITE INDUSTRIES LTD	761	540	70,006	109,910	素材	
JYOTHY LABORATORIES LTD	1,853	2,631	44,724	70,216	家庭用品・パーソナル用品	
BAJAJ AUTO LIMITED	275	234	71,009	111,485	自動車・自動車部品	
BAJAJ CONSUMER CARE LTD	1,665	1,621	54,878	86,158	家庭用品・パーソナル用品	
HDFC BANK LIMITED	705	531	130,715	205,222	銀行	
CARE RATINGS LIMITED	519	577	56,197	88,229	各種金融	
BAJAJ FINANCE LIMITED	361	233	82,070	128,851	各種金融	
YES BANK LIMITED	3,604	—	—	—	銀行	
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	—	1,111	58,998	92,628	運輸	
BRITANNIA INDUSTRIES LTD	—	197	58,655	92,089	食品・飲料・タバコ	
WONDERLA HOLIDAYS LTD	2,333	1,656	51,448	80,774	消費者サービス	
ICICI BANK LTD	4,660	2,234	94,507	148,376	銀行	
UNITED SPIRITS LIMITED	—	1,042	58,138	91,276	食品・飲料・タバコ	
合 計	株 数 ・ 金 額	31,223	23,472	1,726,942	2,711,300	
	銘柄数 < 比率 >	26	27	—	<96.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	2,711,300	96.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	92,771	3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	2,804,071	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(2,804,062千円)の投資信託財産総額(2,804,071千円)に対する比率は100.0%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1インド・ルピー=1.57円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,804,071,513
コール・ローン等	90,251,924
株式(評価額)	2,711,300,347
未取配当金	2,519,242
(B) 純資産総額(A)	2,804,071,513
元本	1,603,015,475
次期繰越損益金	1,201,056,038
(C) 受益権総口数	1,603,015,475口
1万口当たり基準価額(B/C)	17,492円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	2,199,042,986円
期中追加設定元本額	1,948,724円
期中一部解約元本額	597,976,235円
期末における元本の内訳	
SBIインド&ベトナム株ファンド	1,603,015,475円

○損益の状況 (2018年6月5日～2019年6月4日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	31,826,630
受取配当金	31,826,630
(B) 有価証券売買損益	△ 223,343,841
売買益	377,732,487
売買損	△ 601,076,328
(C) その他費用	△ 3,291,060
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 194,808,271
(E) 前期繰越損益金	1,762,746,798
(F) 追加信託差損益金	1,351,276
(G) 解約差損益金	△ 368,233,765
(H) 計(D+E+F+G)	1,201,056,038
次期繰越損益金(H)	1,201,056,038

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

第 12 期 運用報告書

(決算日 2019 年 6 月 4 日)

ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)

受益者のみなさまへ

「SBIインド&ベトナム株ファンド」が投資対象とするマザーファンド「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)」の第 12 期(2018 年 6 月 5 日から 2019 年 6 月 4 日まで)の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行います。 株式投資に際しては、投資対象に掲げる株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 SBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
8期(2015年6月4日)	13,056	34.9	97.6	3,617
9期(2016年6月6日)	12,205	△ 6.5	98.5	3,042
10期(2017年6月5日)	15,153	24.2	95.3	3,783
11期(2018年6月4日)	15,944	5.2	97.8	4,442
12期(2019年6月4日)	16,936	6.2	99.3	3,237

(注) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

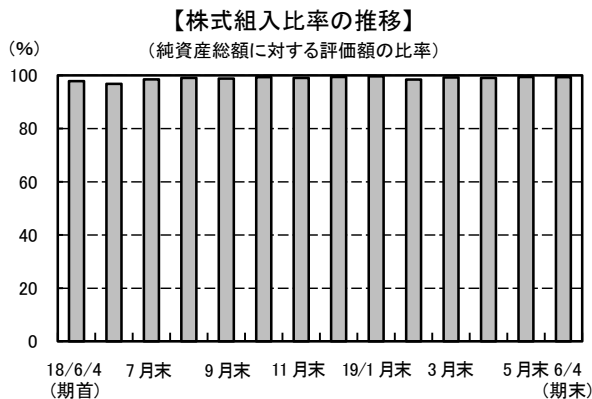
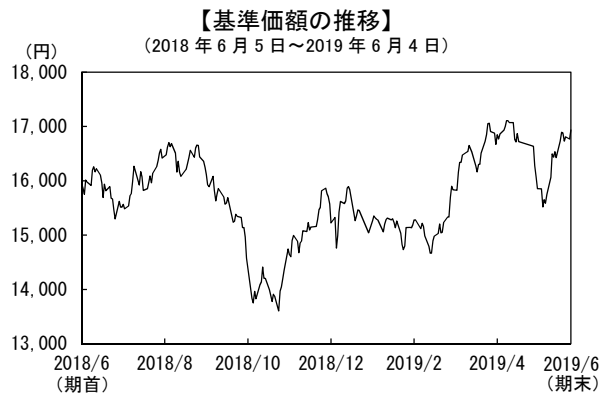
年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2018年6月4日	15,944	—	97.8
6月末	15,298	△ 4.1	96.8
7月末	16,376	2.7	98.5
8月末	16,440	3.1	99.0
9月末	15,345	△ 3.8	98.8
10月末	14,048	△ 11.9	99.3
11月末	15,817	△ 0.8	99.0
12月末	15,455	△ 3.1	99.4
2019年1月末	14,802	△ 7.2	99.6
2月末	15,052	△ 5.6	98.4
3月末	16,509	3.5	99.2
4月末	16,720	4.9	99.0
5月末	16,810	5.4	99.4
(期末)			
2019年6月4日	16,936	6.2	99.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2018年6月5日から2019年6月4日まで）

○運用経過



【組入上位 10 銘柄】

(2019年6月4日現在)

順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	アクシス銀行	銀行	インド・ルピー	インド	6.6%
2	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	6.5%
3	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド・ルピー	インド	6.2%
4	I C I C I 銀行	銀行	インド・ルピー	インド	5.0%
5	HDFC	銀行	インド・ルピー	インド	4.5%
6	タタ・コンサルタンシー・サービスズ	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	4.3%
7	インドステイト銀行	銀行	インド・ルピー	インド	4.1%
8	マルチ・スズキ・インドア	自動車・自動車部品	インド・ルピー	インド	3.1%
9	ブハルディ・エアテル	電気通信サービス	インド・ルピー	インド	2.9%
10	シュリーセメント	素材	インド・ルピー	インド	2.4%
組入銘柄数		52 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【当期末の為替】

	レート(円)	前期比(%)
米ドル/円	107.92	△5.01
インド・ルピー/円	1.57	△3.09

※為替レートは、わが国の対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

※為替レートの前期比は、プラスはそれぞれ米ドル高/インド・ルピー高、マイナスはそれぞれ米ドル安/インド・ルピー安です。

○基準価額の変動要因

当期の基準価額は、外国為替市場で円高が進行しましたが、株式市場が堅調に推移したことにより上昇しました。期初は米連邦準備制度理事会(FRB)のタカ派姿勢、米中間の貿易摩擦をめぐる懸念、世界的な原油価格の上昇、インド準備銀行による0.25%の利上げにもかかわらず株価は大幅上昇しました。しかし、2018年9月から10月にかけては原油価格の上昇懸念、インド・ルピー安、そしてノンバンクによる市場での資金調達をめぐる懸念により大きく下落しました。11月は反発したものの、12月から2019年1月末にかけては、世界的株安に始まり、インド・パキスタン間の地政学リスクの高まりによる投資家心理の悪化によりインド株式市場が下落したため、軟調に推移しました。3月以降はインド準備銀行の追加利下げ、インド下院総選挙でのモディ政権の続投期待や、良好な中国経済指標を背景とした世界景気減速懸念の緩和などにより堅調に推移したことに加えて、為替も安定して推移し、1月下旬から10%近い上昇となりました。4月末から5月上旬にかけては、株価市場は比較的安定していたものの、為替が大きく円高に振れたため、軟調に推移しました。その後はインドの下院総選挙でモディ首相率いるインド人民党が単独で過半数の議席を獲得したことにより大きく反発したことがプラスに寄与し、当ファンドの基準価額は反発基調となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

【組入上位5銘柄】

期首(2018年6月4日)

銘柄名	業種	組入比率
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	6.7%
インフォシス	ソフトウェア・サービス	5.9%
HDFC	銀行	4.4%
アクシス銀行	銀行	4.3%
マルチ・スズキ・インド	自動車・自動車部品	4.1%

期末(2019年6月4日)

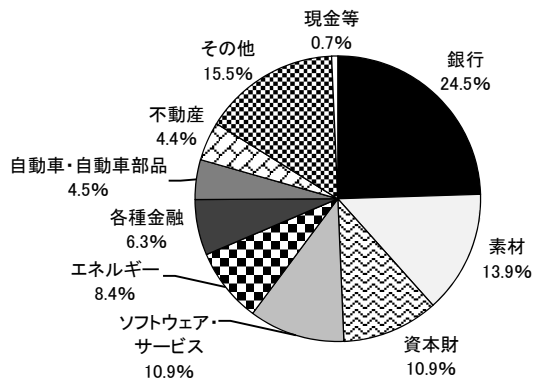
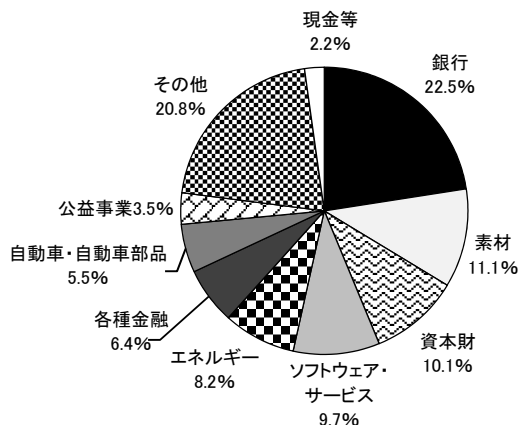
銘柄名	業種	組入比率
アクシス銀行	銀行	6.6%
インフォシス	ソフトウェア・サービス	6.5%
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	6.2%
I C I C I 銀行	銀行	5.0%
HDFC	銀行	4.5%

※当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

【業種別組入比率】

期首(2018年6月4日現在)

期末(2019年6月4日現在)



※当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
 ※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドは以下のようにコメントしています。

インドの下院総選挙でモディ首相率いるインド人民党が単独過半数を獲得し、政権が継続することは、企業の景況感や金融市場に対する投資家心理を下支えする可能性があります。我々は、法人向け貸出に対する不良債権の引当金減少や、企業の設備投資サイクルが潜在的に転換点を迎えていることなどから、2020年度にはインド企業の利益が成長すると予想しています。過去数年間にわたって、インドの株式市場は成長に恵まれ、一部の株式は成長の予測可能性と一貫性を背景に高く評価されていました。すべての銘柄が利益成長することは難しいものの、“質の高いグロース銘柄”の選択は長期間にわたって機能しています。また、利益率や利益成長の好転が他の銘柄にも広がり、トレンドの変化が進行しています。

MSCIインド指数のバリュエーションは平均を上回っており、MSCIインド指数は来期予想利益の18.5倍程度で取引されています（10年間の平均に対して最大19%のプレミアム）。過去18カ月間の中小型株の大幅な低迷は、優良な株を魅力的なバリュエーションで購入できる良い機会を我々に与えています。ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を続けることが収益機会を得る最良の方法だと我々は考えています。

※上記見通しと運用方針は、当マザーファンドの再委託会社であるSBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳したものを記載しております。

○1万口当たりの費用明細

(2018年6月5日～2019年6月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 22 (22)	% 0.138 (0.138)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(b) 有価証券取引税 (株 式)	19 (19)	0.118 (0.118)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	92 (21) (71)	0.586 (0.133) (0.453)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等、信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	133	0.842	
期中の平均基準価額は15,722円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年6月5日～2019年6月4日)

株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
イ ン ド	百株 23,403 (2,500)	千インド・ルピー 1,054,114 (23,951)	百株 39,955 (544)	千インド・ルピー 1,885,522 (11,972)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、有償増資による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	4,668,011 千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	4,036,789 千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.15

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月5日～2019年6月4日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月4日現在)

外国株式

銘 柄	期 首 (前期末) 株 数	当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド…ムンバイ市場)	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
RELIANCE INDUSTRIES LIMITED	1,950	940	127,680	200,457	エネルギー
CENTURY TEXTILES & INDS LTD	250	—	—	—	資本財
SHREE CEMENT LIMITED	24	22	49,213	77,265	素材
INDUSIND BANK LTD	168	—	—	—	銀行
TATA STEEL LIMITED	—	400	19,906	31,252	素材
CHENNAI PETROLEUM CORP LTD	—	930	20,762	32,596	エネルギー
GAIL INDIA LTD	1,346	—	—	—	公益事業
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	266	211	32,309	50,725	銀行
PROCTER & GAMBLE HYGIENE	30	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
NATIONAL ALUMINIUM CO LTD	3,280	3,280	16,465	25,850	素材
COLGATE-PALMOLIVE (INDIA)	210	259	30,271	47,526	家庭用品・パーソナル用品
GE T&D INDIA LIMITED	810	—	—	—	資本財
LUPIN LTD	—	360	26,829	42,121	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TIMKEN INDIA LIMITED	370	400	27,674	43,448	資本財
INDIA CEMENTS LIMITED	1,740	—	—	—	素材
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	648	420	93,678	147,075	銀行
ZEE ENTERTAINMENT ENTERPRISE	960	—	—	—	メディア・娯楽
INFOSYS LIMITED	1,301	1,803	134,318	210,880	ソフトウェア・サービス
INDIAN OIL CORPORATION LTD	2,240	—	—	—	エネルギー
WHIRLPOOL OF INDIA LTD	200	—	—	—	耐久消費財・アパレル
CUMMINS INDIA LTD	—	360	27,792	43,633	資本財
CESC LIMITED	260	—	—	—	公益事業

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド…ムンバイ市場)	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
HERO MOTOCORP LTD	103	105	29,822	46,821	自動車・自動車部品
SCHAEFFLER INDIA LIMITED	47	47	23,832	37,416	資本財
GANESHA ECOSPHERE LTD	400	—	—	—	耐久消費財・アパレル
DR. REDDY'S LABORATORIES	—	136	36,977	58,053	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SKF INDIA LTD	150	141	26,705	41,927	資本財
BHARTI AIRTEL LIMITED	2,230	1,679	59,243	93,011	電気通信サービス
NIRLON LIMITED	189	—	—	—	不動産
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	125	90	63,293	99,370	自動車・自動車部品
CIPLA LTD	630	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ULTRATECH CEMENT LTD	—	72	34,342	53,917	素材
TATA CONSULTANCY SVS LTD	596	399	89,493	140,504	ソフトウェア・サービス
JK CEMENT LTD	268	371	39,014	61,253	素材
HINDALCO INDUSTRIES LIMITED	1,550	1,190	23,734	37,263	素材
AIA ENGINEERING LTD	160	115	20,634	32,396	資本財
SADBHAV ENGINEERING LTD	687	—	—	—	資本財
GUJARAT STATE PETRONET LTD	1,250	1,230	24,292	38,139	公益事業
THERMAX LIMITED	234	245	24,907	39,104	資本財
GRINDWELL NORTON LTD	600	360	21,124	33,165	資本財
SOBHA LTD	—	415	22,310	35,027	不動産
VOLTAS LIMITED	430	—	—	—	耐久消費財・アパレル
INDIAN HOTELS CO LIMITED	—	1,430	22,136	34,754	消費者サービス
GREAT EASTERN SHIPPING CO	—	905	25,431	39,927	エネルギー
MARICO LTD	420	810	30,573	48,000	家庭用品・パーソナル用品
ABB LTD INDIA	190	190	30,273	47,529	資本財
JUBILANT FOODWORKS LTD	110	—	—	—	消費者サービス
GALAXY SURFACTANTS LTD	180	—	—	—	素材
PRESTIGE ESTATES PROJECTS LTD	—	700	20,202	31,717	不動産
TRIVENI TURBINE LTD	—	2,056	22,209	34,868	資本財
HDFC BANK LIMITED	267	127	31,445	49,370	銀行
MULTI COMMODITY EXCH INDIA	390	260	21,360	33,535	各種金融
MAHINDRA & MAHINDRA FINANCIAL SERVICES L	800	802	34,923	54,829	各種金融
ASIAN PAINTS LTD	—	316	46,112	72,396	素材
BAJAJ FINANCE LIMITED	356	—	—	—	各種金融
EQUITAS HOLDINGS LTD	1,690	1,640	23,009	36,124	各種金融
LT FOODS LTD	3,989	—	—	—	食品・飲料・タバコ
SHEELA FOAM LTD	190	—	—	—	素材
INDIAN TERRAIN FASHIONS LTD	—	2,150	23,972	37,636	耐久消費財・アパレル
AU SMALL FINANCE BANK LIMITED	450	340	23,675	37,171	銀行
LEMON TREE HOTELS LTD	4,100	2,900	20,865	32,758	消費者サービス
ICICI SECURITIES LTD	—	1,190	27,066	42,494	各種金融
ASHIANA HOUSING LTD	2,000	2,000	24,000	37,680	不動産
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	—	132	23,552	36,976	各種金融

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(インド…ムンバイ市場)	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
FINE ORGANIC INDUSTRIES LTD	—	155	24,555	38,551	素材	
CHALET HOTELS LTD	—	630	21,602	33,916	消費者サービス	
GODREJ PROPERTIES LTD	370	270	24,320	38,182	不動産	
AXIS BANK LIMITED	2,150	1,679	136,443	214,216	銀行	
STATE BANK OF INDIA	3,710	2,370	84,241	132,259	銀行	
ICICI BANK LTD	3,184	2,444	103,356	162,270	銀行	
BANK OF BARODA	1,900	—	—	—	銀行	
TEAMLEASE SERVICES LIMITED	100	74	22,278	34,977	商業・専門サービス	
ICICI LOMBARD GENERAL INSURANCE COMPANY	340	—	—	—	保険	
ITD CEMENTATION INDIA LTD	1,250	—	—	—	資本財	
INTERGLOBE AVIATION LTD	235	—	—	—	運輸	
GREENPLY INDUSTRIES LTD	781	—	—	—	素材	
STAR CEMENT LTD	2,121	2,741	33,394	52,429	素材	
SBI LIFE INSURANCE COMPANY LIMITED	372	—	—	—	保険	
JSW STEEL LIMITED	1,540	—	—	—	素材	
合 計	株 数 ・ 金 額	58,893	44,297	2,047,632	3,214,783	
	銘柄数 < 比率 >	62	52	—	< 99.3% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 3,214,783	% 98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	38,322	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	3,253,105	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(3,237,444千円)の投資信託財産総額(3,253,105千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1インド・ルピー=1.57円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況(2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,253,105,936
コール・ローン等	20,019,979
株式(評価額)	3,214,783,733
未収入金	18,302,224
(B) 負債	15,656,889
未払金	15,656,889
(C) 純資産総額(A - B)	3,237,449,047
元本	1,911,530,875
次期繰越損益金	1,325,918,172
(D) 受益権総口数	1,911,530,875口
1万口当たり基準価額(C / D)	16,936円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	2,786,692,650 円
期中追加設定元本額	22,827,642 円
期中一部解約元本額	897,989,417 円
期末における元本の内訳	
SBIインド&ベトナム株ファンド	1,689,291,465 円
SBIインド・スリランカ・バランス・ファンド(年4回決算型)	222,239,410 円

○損益の状況 (2018年6月5日～2019年6月4日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	38,004,925
受取配当金	38,007,034
支払利息	△ 2,109
(B) 有価証券売買損益	145,246,034
売買益	684,273,998
売買損	△ 539,027,964
(C) その他費用	△ 23,789,625
(D) 当期損益金(A + B + C)	159,461,334
(E) 前期繰越損益金	1,656,275,063
(F) 追加信託差損益金	12,282,358
(G) 解約差損益金	△ 502,100,583
(H) 計(D + E + F + G)	1,325,918,172
次期繰越損益金(H)	1,325,918,172

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

第 12 期 運用報告書

(決算日 2019 年 6 月 4 日)

SBIAM インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)

受益者のみなさまへ

「SBIインド&ベトナム株ファンド」が投資対象とするマザーファンド「SBIAM インド株・マザーファンド (適格機関投資家専用)」の第 12 期(2018 年 6 月 5 日から 2019 年 6 月 4 日まで)の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行います。 株式投資に際しては、投資対象に掲げる株式の中から収益性や成長性等を総合的に 勘案した銘柄に厳選投資します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みます。)を 主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		株式組入 比 率	純資産 総 額
		期 中 騰 落 率		
	円	%	%	百万円
8期(2015年6月4日)	10,275	22.3	99.7	1,330
9期(2016年6月6日)	8,505	△ 17.2	99.1	787
10期(2017年6月5日)	10,831	27.3	99.7	486
11期(2018年6月4日)	11,652	7.6	99.2	286
12期(2019年6月4日)	11,844	1.6	87.5	1,997

(注) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

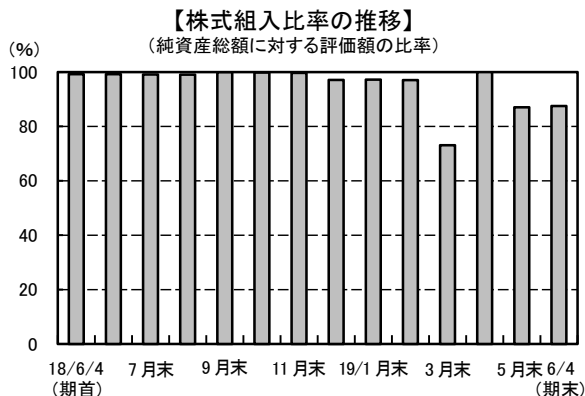
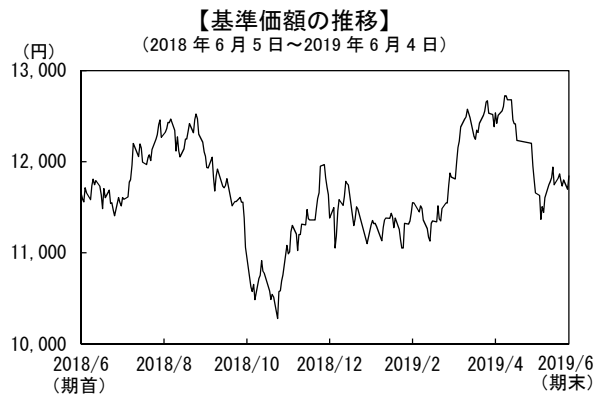
年 月 日	基 準 価 額		株式組入 比 率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2018年6月4日	11,652	—	99.2
6月末	11,407	△ 2.1	99.2
7月末	12,297	5.5	99.1
8月末	12,303	5.6	99.0
9月末	11,563	△ 0.8	99.9
10月末	10,582	△ 9.2	99.8
11月末	11,951	2.6	99.7
12月末	11,482	△ 1.5	97.1
2019年1月末	11,054	△ 5.1	97.2
2月末	11,351	△ 2.6	97.0
3月末	12,422	6.6	73.1
4月末	12,233	5.0	100.0
5月末	11,800	1.3	87.0
(期 末)			
2019年6月4日	11,844	1.6	87.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2018年6月5日から2019年6月4日まで）

○運用経過



【組入上位 10 銘柄】

(2019年6月4日現在)

銘柄名		業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	HDFC銀行	銀行	インド・ルピー	インド	11.2%
2	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インド・ルピー	インド	9.4%
3	HDFC	銀行	インド・ルピー	インド	8.2%
4	インフォシス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	6.1%
5	ICICI銀行	銀行	インド・ルピー	インド	5.8%
6	タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	インド・ルピー	インド	5.2%
7	ITC	食品・飲料・タバコ	インド・ルピー	インド	4.9%
8	ラーセン&トップロ	資本財	インド・ルピー	インド	4.1%
9	コタック・マヒンドラ銀行	銀行	インド・ルピー	インド	3.8%
10	アクシス銀行	銀行	インド・ルピー	インド	3.1%
組入銘柄数		31 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

【当期末の為替】

	レート(円)	前期比(%)
米ドル/円	107.92	△5.01
インド・ルピー/円	1.57	△3.09

※為替レートは、わが国の対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

※為替レートの前期比は、プラスはそれぞれ米ドル高/インド・ルピー高、マイナスはそれぞれ米ドル安/インド・ルピー安です。

○基準価額の変動要因

当期の基準価額は、外国為替市場で円高が進行しましたが、株式市場が堅調に推移したことにより上昇しました。期初は米連邦準備制度理事会(FRB)のタカ派姿勢、米中間の貿易摩擦をめぐる懸念、世界的な原油価格の上昇、インド準備銀行による0.25%の利上げにもかかわらず株価は大幅上昇しました。しかし、2018年9月から10月にかけては原油価格の上昇懸念、インド・ルピー安、そしてノンバンクによる市場での資金調達をめぐる懸念により大きく下落しました。11月は反発したものの、12月から2019年1月末にかけては、世界的株安に始まり、インド・パキスタン間の地政学リスクの高まりによる投資家心理の悪化によりインド株式市場が下落したため、軟調に推移しました。3月以降はインド準備銀行の追加利下げ、インド下院総選挙でのモディ政権の続投期待や、良好な中国経済指標を背景とした世界景気減速懸念の緩和などにより堅調に推移したことに加えて、為替も安定して推移し、1月下旬から10%近い上昇となりました。4月末から5月上旬にかけては、株価市場は比較的安定していたものの、為替が大きく円高に振れたため、軟調に推移しました。その後はインドの下院総選挙でモディ首相率いるインド人民党が単独で過半数の議席を獲得したことにより大きく反発したことがプラスに寄与し、当ファンドの基準価額は反発基調となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

インドの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

【組入上位5銘柄】

期首(2018年6月4日)

銘柄名	業種	組入比率
HDFC銀行	銀行	12.3%
HDFC	銀行	8.9%
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	8.5%
インフォシス	ソフトウェア・サービス	6.7%
ITC	食品・飲料・タバコ	6.5%

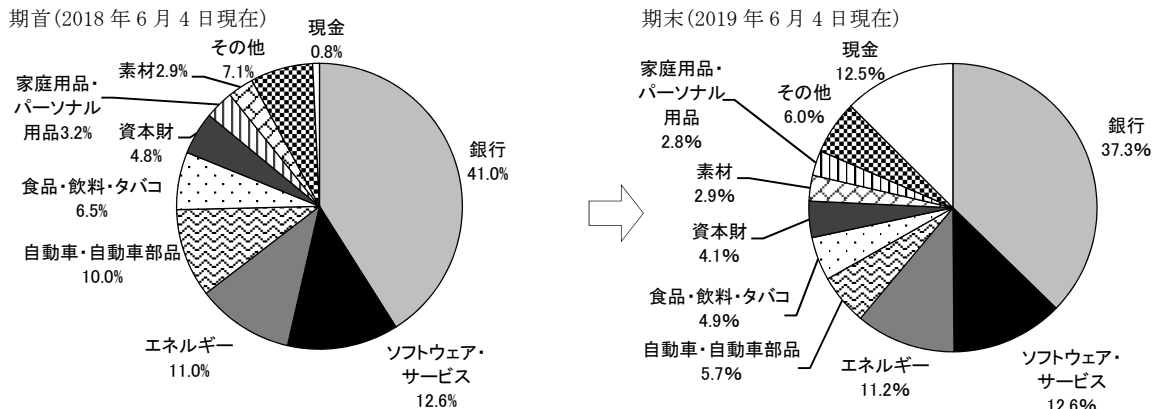


期末(2019年6月4日)

銘柄名	業種	組入比率
HDFC銀行	銀行	11.2%
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	9.4%
HDFC	銀行	8.2%
インフォシス	ソフトウェア・サービス	6.1%
ICICI銀行	銀行	5.8%

※当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

【業種別組入比率】



※当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
 ※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

インド下院総選挙の与党勝利やインド準備銀行による利下げが好感されたものの、材料出尽くしによる利益確定売りもあり、直近は一進一退の展開となっています。今後の見通しとしては、一人当たりGDPの増加による消費拡大、金融セクターの成長、政府によるインフラ投資の拡大、繊維や特殊化学製品の輸出の拡大により、引き続き高水準の経済成長率が続くと思われ、また、インド国内の投資家によるインド株の買い越し基調が継続していることに加えて、海外機関投資家の資本が流入に転じていることから、中長期的には緩やかに上昇していく展開が想定されます。

以上の見通しにより、インド株を主要投資対象とする上記の各受益証券については、対純資産比率で80%前後の組入比率を目標として運用する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年6月5日～2019年6月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 171 (171)	% 1.460 (1.460)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(b) 有価証券取引税 (株 式)	88 (88)	0.750 (0.750)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	90 (90) (0)	0.773 (0.773) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等、信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	349	2.983	
期中の平均基準価額は11,703円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年6月5日～2019年6月4日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	イ ン ド	百株	千インド・ルピー	百株	千インド・ルピー
		15,165 (131)	1,053,439 (250)	2,235 (5)	141,517 (123)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、有償増資による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,890,747 千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	358,129 千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	5.27

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月5日～2019年6月4日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月4日現在)

外国株式

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(インド…ムンバイ市場)	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
RELIANCE INDUSTRIES LIMITED	159	878	119,367	187,406	エネルギー	
MAHINDRA&MAHINDRA LIMITED	46	248	16,247	25,508	自動車・自動車部品	
INDUSIND BANK LTD	25	138	22,961	36,049	銀行	
TATA STEEL LIMITED	38	208	10,393	16,317	素材	
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	58	318	48,742	76,526	銀行	
VEDANTA LTD	—	494	8,118	12,745	素材	
OIL & NATURAL GAS CORP LTD	138	782	13,466	21,142	エネルギー	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	83	467	104,179	163,562	銀行	
INFOSYS LIMITED	95	1,040	77,454	121,602	ソフトウェア・サービス	
WIPRO LTD	60	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
HINDUSTAN UNILEVER LIMITED	35	194	35,818	56,235	家庭用品・パーソナル用品	
HCL TECHNOLOGIES LTD	—	153	17,116	26,872	ソフトウェア・サービス	
HERO MOTOCORP LTD	6	34	9,858	15,477	自動車・自動車部品	
DR. REDDY'S LABORATORIES	6	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BHARTI AIRTEL LIMITED	58	464	16,381	25,719	電気通信サービス	
SUN PHARMACEUTICAL INDUS	54	292	12,171	19,109	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	6	36	25,514	40,057	自動車・自動車部品	
LARSEN & TOUBRO LIMITED	61	331	51,762	81,267	資本財	
TATA CONSULTANCY SVS LTD	49	292	65,561	102,931	ソフトウェア・サービス	
NTPC LIMITED	153	1,012	13,466	21,142	公益事業	
ITC LTD	419	2,233	62,220	97,686	食品・飲料・タバコ	
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	108	618	11,949	18,760	公益事業	
ADANI PORTS AND SPECIAL ECONOMIC ZONE	39	—	—	—	運輸	
BAJAJ AUTO LIMITED	6	36	11,179	17,551	自動車・自動車部品	
COAL INDIA LTD	64	372	9,721	15,263	エネルギー	
HDFC BANK LIMITED	101	580	142,715	224,063	銀行	
TATA MOTORS LTD-A-DVR	25	129	1,097	1,723	自動車・自動車部品	
TATA MOTORS LTD	92	488	8,518	13,374	自動車・自動車部品	
ASIAN PAINTS LTD	22	125	18,358	28,823	素材	
BAJAJ FINANCE LIMITED	—	64	22,547	35,400	各種金融	
TATA STEEL LTD-PARTLY PAID	2	—	—	—	素材	
YES BANK LIMITED	89	479	7,167	11,252	銀行	
AXIS BANK LIMITED	90	481	39,146	61,460	銀行	
STATE BANK OF INDIA	183	1,016	36,141	56,742	銀行	
ICICI BANK LTD	312	1,735	73,401	115,240	銀行	
合 計	株 数 ・ 金 額	2,697	15,752	1,112,750	1,747,018	
	銘柄数 < 比率 >	32	31	—	< 87.5% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	1,747,018	86.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	264,335	13.1
投 資 信 託 財 産 総 額	2,011,353	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(1,997,374千円)の投資信託財産総額(2,011,353千円)に対する比率は99.3%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1インド・ルピー=1.57円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況(2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,011,353,698
コール・ローン等	256,768,350
株式(評価額)	1,747,018,508
未収入金	7,289,737
未収配当金	277,103
(B) 負債	13,971,466
未払金	13,971,466
(C) 純資産総額(A-B)	1,997,382,232
元本	1,686,452,567
次期繰越損益金	310,929,665
(D) 受益権総口数	1,686,452,567口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,844円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	246,029,874円
期中追加設定元本額	1,609,747,443円
期中一部解約元本額	169,324,750円
期末における元本の内訳	
SBIインド&ベトナム株ファンド	1,686,452,567円

○損益の状況(2018年6月5日~2019年6月4日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,265,459
受取配当金	3,106,835
その他収益金	163,783
支払利息	△ 5,159
(B) 有価証券売買損益	15,563,013
売買益	62,097,862
売買損	△ 46,534,849
(C) その他費用	△ 2,991,674
(D) 当期損益金(A+B+C)	15,836,798
(E) 前期繰越損益金	40,655,560
(F) 追加信託差損益金	293,432,557
(G) 解約差損益金	△ 38,995,250
(H) 計(D+E+F+G)	310,929,665
次期繰越損益金(H)	310,929,665

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

第 12 期 運用報告書

(決算日 2019 年 6 月 4 日)

SBIAM ベトナム株・マザーファンド (適格機関投資家専用)

受益者のみなさまへ

「SBIインド&ベトナム株ファンド」が投資対象とするマザーファンド「SBIAM ベトナム株・マザーファンド（適格機関投資家専用）」の第 12 期(2018 年 6 月 5 日から 2019 年 6 月 4 日まで)の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行います。 株式及び債券の銘柄選定に際しては、投資対象に掲げる株式及び債券の中から、収益性や成長性及び流動性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みます。)ならびに当該株式の値動きに連動する債券、新株引受権証券等を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		株 式 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率			
	円	%	%	%	百万円
8期(2015年6月4日)	6,744	18.0	19.7	73.6	1,681
9期(2016年6月6日)	6,928	2.7	87.6	—	1,729
10期(2017年6月5日)	8,377	20.9	99.1	—	1,371
11期(2018年6月4日)	11,079	32.3	99.7	—	1,452
12期(2019年6月4日)	10,545	△ 4.8	96.4	—	1,476

(注1) 各組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) —印は組入れなし。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率
		騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%
2018年6月4日	11,079	—	99.7	—
6月末	10,954	△ 1.1	99.0	—
7月末	10,755	△ 2.9	99.2	—
8月末	11,345	2.4	97.1	—
9月末	11,761	6.2	97.3	—
10月末	10,384	△ 6.3	96.8	—
11月末	10,796	△ 2.6	96.9	—
12月末	10,361	△ 6.5	96.7	—
2019年1月末	10,322	△ 6.8	96.7	—
2月末	11,462	3.5	97.0	—
3月末	11,323	2.2	96.8	—
4月末	11,238	1.4	96.8	—
5月末	10,979	△ 0.9	96.5	—
(期 末)				
2019年6月4日	10,545	△ 4.8	96.4	—

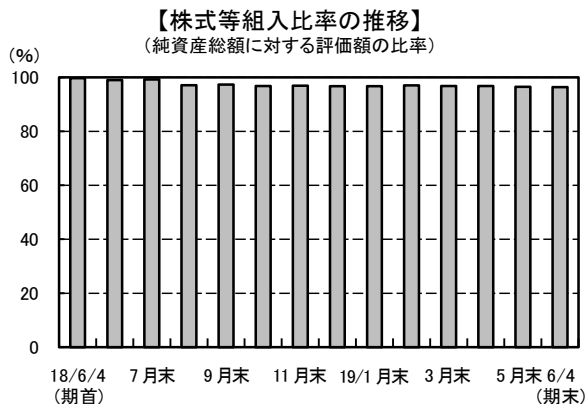
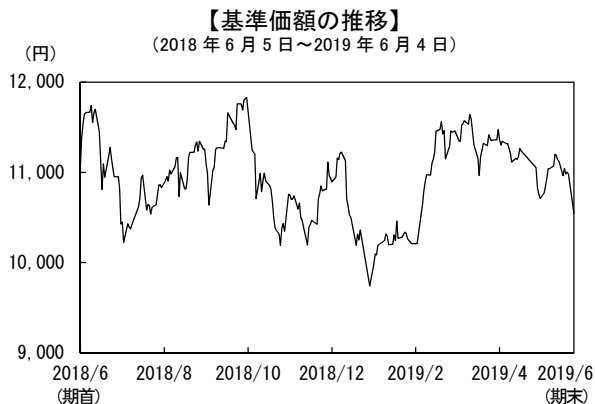
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 各組入比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) —印は組入れなし。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2018年6月5日から2019年6月4日まで）

○運用経過



【組入上位 10 銘柄】

(2019年6月4日現在)

銘柄名		業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ビングループ	不動産	ベトナム・ドン	ベトナム	14.8%
2	ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	ベトナム・ドン	ベトナム	13.9
3	ベトコムバンク	銀行	ベトナム・ドン	ベトナム	8.7
4	ベトロベトナムガス	公益事業	ベトナム・ドン	ベトナム	6.7
5	サイゴンビール・アルコール	食品・飲料・タバコ	ベトナム・ドン	ベトナム	6.5
6	ベトナム航空総公社	運輸	ベトナム・ドン	ベトナム	6.4
7	ビンホームズ	不動産	ベトナム・ドン	ベトナム	6.0
8	マサングループ	食品・飲料・タバコ	ベトナム・ドン	ベトナム	4.4
9	ベトナム投資開発銀行	銀行	ベトナム・ドン	ベトナム	3.6
10	ベトナム石油総公社	エネルギー	ベトナム・ドン	ベトナム	3.5
組入銘柄数			23 銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【当期末の為替】

	レート(円)	前期比(%)
米ドル/円	107.92	△5.01
ベトナム・ドン/円	0.0046	△6.12

※為替レートは、わが国の対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

※為替レートの前期比は、プラスはそれぞれ米ドル高/ベトナム・ドン高、マイナスはそれぞれ米ドル安/ベトナム・ドン安です。

○基準価額の変動要因

当期のベトナム株式市場は、堅調な経済指標を評価して上昇して始まったことにより、当ファンドも小高く推移しましたが、米国金利の上昇を背景とした新興国株式市場からの資金流出懸念によって、2018年7月にかけて軟調に推移しました。その後、堅調な企業業績や経済指標に投資家の視点が移ると、米中貿易摩擦によって企業が中国からベトナムに生産拠点を移すとの期待も追い風となり、基準価額は、10月5日に最高値となる11,830円を付けました。しかしその後は、中国経済の減速や米国株の値下がり背景に再び下落に転じ、年末にかけてボラティリティが高まり、一進一退となりました。年初の円高の影響を受けたことにより、2019年1月4日には9,741円の最安値を付けました。2月から3月にかけては米中貿易協議に関して対話が進むという期待感や良好な中国経済指標を背景に、再度高値近辺まで上昇しました。その後は世界的に株価が軟調に推移したこともあり、基準価額は10,545円で期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性および流動性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

【組入上位5銘柄】

期首(2018年6月4日)

銘柄名	業種	組入比率
ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	16.1%
ビンググループ	不動産	13.5%
ベトナム銀行	銀行	7.9%
ベトナム航空総社	運輸	6.8%
ペトロベトナムガス	公益事業	6.5%

期末(2019年6月4日)

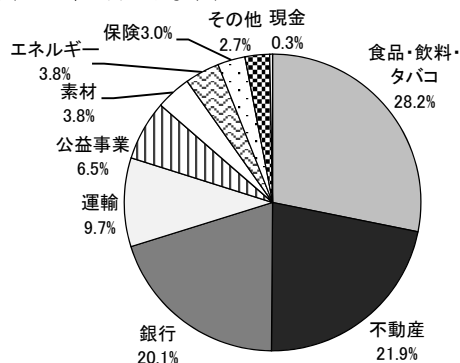
銘柄名	業種	組入比率
ビンググループ	不動産	14.8%
ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	13.9%
ベトナム銀行	銀行	8.7%
ペトロベトナムガス	公益事業	6.7%
サイゴンビール・アルコール	食品・飲料・タバコ	6.5%

※当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

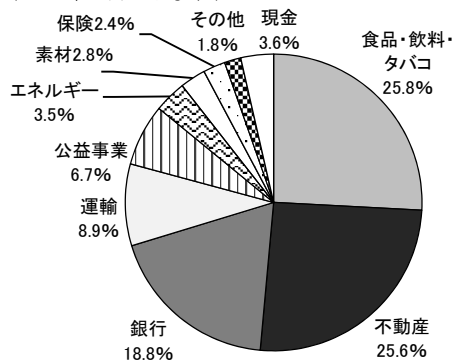
※同一企業の異なる発行体による株価変動債は、原則として1つの銘柄に合算しております。

【業種別組入比率】

期首(2018年6月4日現在)



期末(2019年6月4日現在)



※当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

ベトナム経済は引き続き好調を維持しており、2018年のGDP成長率は前年比+6.6%、2019年は同+6.6%の高成長が続く見込みです。ベトナムは中国が最大の輸出先ですが、米中貿易摩擦での関税を回避するために、生産拠点を中国から他国に移設する恩恵を受ける有力候補と考えられています。外国からベトナムへの直接投資の加速を通じて、中長期的には上昇基調が継続すると予想されます。

以上の見通しにより、当面は対純資産比率で10-15%前後の組入比率で運用を行います。必要に応じて、銘柄入れ替えを行いながら運用する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年6月5日～2019年6月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.021 (0.021)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	12 (12)	0.106 (0.106)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	14	0.127	
期中の平均基準価額は10,973円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年6月5日～2019年6月4日)

株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
ベ ト ナ ム	百株 2,098 (4,650)	千ベトナム・ドン 14,844,212 (-)	百株 -	千ベトナム・ドン -

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	71,393 千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,477,654 千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.04

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月5日～2019年6月4日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月4日現在)

外国株式

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(ベトナム)	百株	百株	千ベトナム・ドン	千円		
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	2,904	3,485	44,610,048	205,206	食品・飲料・タバコ	
FPT CORP	715	787	3,425,016	15,755	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
VINGROUP JSC	3,432	4,153	47,552,079	218,739	不動産	
HOA PHAT GROUP JSC	2,037	2,852	8,986,257	41,336	素材	
VIETNAM JS COMMERCIAL BANK F	4,393	4,393	8,743,861	40,221	銀行	
MASAN GROUP CORP	1,673	1,673	14,223,900	65,429	食品・飲料・タバコ	
BAO VIET HOLDINGS	1,001	1,001	7,738,503	35,597	保険	
BANK FOR FOREIGN TRADE JSC	4,187	4,187	27,845,545	128,089	銀行	
MILITARY COMMERCIAL JOINT	2,067	2,460	5,007,707	23,035	銀行	
PETROVIETNAM GAS JOINT STOCK	2,131	2,131	21,608,340	99,398	公益事業	
AIRPORTS CORP OF VIETNAM JSC	2,549	2,549	20,646,900	94,975	運輸	
SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE	775	775	20,925,000	96,255	食品・飲料・タバコ	
VIETNAM PROSPERITY JSC BANK	1,642	2,657	4,783,230	22,002	銀行	
VIETNAM TECHNOLOGICAL & COMM	—	500	1,075,000	4,945	銀行	
VINHOMES JSC	880	2,387	19,245,265	88,528	不動産	
BANK FOR INVESTMENT AND DEVE	3,766	3,766	11,526,714	53,022	銀行	
HANOI BEER ALCOHOL & BEVERAG	322	322	3,191,760	14,682	食品・飲料・タバコ	
VIETJET AVIATION JSC	542	651	7,943,664	36,540	運輸	
VIETNAM NATIONAL PETROLEUM G	1,831	1,831	11,224,643	51,633	エネルギー	
HDBANK	—	568	1,521,005	6,996	銀行	
NO VA LAND INVESTMENT GROUP	1,129	1,129	6,779,220	31,184	不動産	
VINCOM RETAIL JSC	2,080	2,548	8,612,645	39,618	不動産	
FLC FAROS CONSTRUCTION JSC	782	782	2,330,479	10,720	建設	
合 計	株 数 ・ 金 額	40,845	47,595	309,546,782	1,423,915	
	銘柄数 < 比率 >	21	23	—	<96.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	1,423,915	96.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	52,728	3.6
投 資 信 託 財 産 総 額	1,476,643	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(1,476,643千円)の投資信託財産総額(1,476,643千円)に対する比率は100.0%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=107.92円、100ベトナム・ドン=0.46円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況(2019年6月4日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,476,643,500
コール・ローン等	47,017,780
株式(評価額)	1,423,915,199
未収配当金	5,710,521
(B) 純資産総額(A)	1,476,643,500
元本	1,400,299,782
次期繰越損益金	76,343,718
(C) 受益権総口数	1,400,299,782口
1万口当たり基準価額(B/C)	10,545円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,310,671,262円
期中追加設定元本額	89,628,520円
期中一部解約元本額	0円
期末における元本の内訳	
SBIインド&ベトナム株ファンド	1,400,299,782円

○損益の状況(2018年6月5日~2019年6月4日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	24,649,031
受取配当金	24,649,031
(B) 有価証券売買損益	△ 95,396,277
売買益	74,026,357
売買損	△ 169,422,634
(C) その他費用	△ 1,604,941
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 72,352,187
(E) 前期繰越損益金	141,364,425
(F) 追加信託差損益金	7,331,480
(G) 計(D+E+F)	76,343,718
次期繰越損益金(G)	76,343,718

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。